



## 平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マサル  
コード番号 1795 URL <http://www.masaru-co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 荻谷 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 近藤 雅広

TEL 03-3643-5859

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	608	86.4	△116	—	△115	—	△73	—
28年9月期第1四半期	326	△72.2	△167	—	△168	—	△167	—

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 △60百万円 (—%) 28年9月期第1四半期 △164百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	△16.29	—
28年9月期第1四半期	△37.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	8,858	3,233	36.5
28年9月期	7,453	3,392	45.5

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 3,233百万円 28年9月期 3,392百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	22.00	22.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,400	△8.1	275	△11.6	270	△12.0	145	△24.9	32.28
通期	8,600	△10.4	330	△43.7	320	△44.8	215	△43.0	47.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期1Q	4,505,757 株	28年9月期	4,505,757 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年9月期1Q	13,249 株	28年9月期	13,249 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	4,492,508 株	28年9月期1Q	4,492,709 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

当四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、当四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の各種経済政策の効果、労働需給の引き締めによる実質賃金の上昇等から、緩やかな景気回復基調が続きました。一方、米国の新政権誕生の影響等から為替相場が不安定になった他、中国、新興国の経済成長の鈍化等から不確実性が高まり、世界経済の先行きは不透明感が強まりました。

建設業界におきましては、急激な労務費の上昇による建設費の高騰が影響し、建設投資が一時的に停滞しておりますが、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたホテルや商業施設の建築に加え、都心部の大型再開発プロジェクトが多数計画されており、業界全体の事業環境は回復基調が続くと予想されています。

このような経営環境のなか、当社グループは、新中期経営計画（平成27年10月～平成30年9月）の方針「革新への挑戦」のもと、将来的に予想される「激動するマーケットに柔軟に対応できる企業」を創り上げることを目指してまいります。

新中期経営計画2年目となる今年度は「誠実に、確実に、より早く」を方針として掲げ、社会的要請に応え、安全で高品質な施工とサービスを確実にスピーディーに提供し、内部統制の確実な実行とともに、業容の拡大、業績の向上を図ってまいります。「生産力の強化」では、IT導入・教育訓練強化による生産効率向上と労働時間短縮、協力会社での技能員雇用環境の改善、地方施工会社とのワークシェアリング、について取組みを強化しております。「営業力の強化」では、新規顧客開拓体制を整備し、直接受注の強化を図っております。「現場力の強化」では、出来高の向上、原価管理の一層の適正化を目指しております。また、協力会社とともに機動力を発揮し、お客さまのニーズに積極的に応えしつつ、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は27億85百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。売上高につきましては、6億8百万円（前年同四半期比86.4%増）になりました。利益につきましては、営業損失は1億16百万円（前年同四半期は営業損失1億67百万円）、経常損失は1億15百万円（前年同四半期は経常損失1億68百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は73百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億67百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （建設工事業）

売上高は5億13百万円（前年同四半期比153.8%増）となり、セグメント損失は1億33百万円（前年同四半期はセグメント損失1億68百万円）となりました。受注高につきましては、26億90百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

#### （設備工事業）

売上高は94百万円（前年同四半期比23.6%減）となり、セグメント利益は16百万円（前年同四半期はセグメント利益0百万円）となりました。受注高につきましては、94百万円（前年同四半期比91.3%増）となりました。

なお、当社グループでは每期3月に完成する工事の割合が大きいことから、通期の売上高に比べ、第1四半期連結累計期間の売上高は著しく低くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は79億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億85百万円増加いたしました。これは主に未成工事支出金が増加したことによるものであります。固定資産は、9億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。

この結果、総資産は88億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億4百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は52億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億58百万円増加しました。これは主に未成工事受入金が増加したことによるものであります。固定負債は、3億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、56億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億63百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は32億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億58百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.5%（前連結会計年度末は45.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月11日に発表いたしました連結業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,446,524	1,372,726
受取手形・完成工事未収入金	1,431,699	1,279,137
電子記録債権	502,095	675,474
未成工事支出金	2,881,884	4,176,858
材料貯蔵品	9,126	9,513
その他	267,134	410,113
貸倒引当金	△942	△937
流動資産合計	6,537,521	7,922,887
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	94,059	92,918
土地	407,655	407,655
その他(純額)	10,867	10,225
有形固定資産合計	512,582	510,800
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	2,558	1,975
ソフトウェア仮勘定	—	2,839
その他	6,689	6,689
無形固定資産合計	9,248	11,504
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	70,857	89,673
長期貸付金	23,323	19,582
その他	372,812	375,960
貸倒引当金	△72,360	△72,359
投資その他の資産合計	394,632	412,855
固定資産合計	916,463	935,161
資産合計	7,453,985	8,858,048

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	974,522	1,005,279
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	525,664	574,131
未払法人税等	162,374	5,544
未成工事受入金	1,700,656	3,261,215
役員賞与引当金	79,750	—
賞与引当金	93,637	31,469
工事損失引当金	6,377	16,776
完成工事補償引当金	19,423	20,095
その他	115,946	222,716
流動負債合計	3,678,351	5,237,227
固定負債		
長期借入金	329,225	327,607
その他	53,585	59,346
固定負債合計	382,810	386,953
負債合計	4,061,161	5,624,181
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	885,697	885,697
資本剰余金	1,261,600	1,261,600
利益剰余金	1,246,047	1,074,036
自己株式	△4,702	△4,702
株主資本合計	3,388,641	3,216,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,181	17,235
その他の包括利益累計額合計	4,181	17,235
純資産合計	3,392,823	3,233,866
負債純資産合計	7,453,985	8,858,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
完成工事高	326,390	608,292
完成工事原価	292,541	503,558
完成工事総利益	33,849	104,733
販売費及び一般管理費	201,263	221,406
営業損失(△)	△167,414	△116,672
営業外収益		
受取利息	71	130
受取配当金	1,048	1,098
その他	1,398	2,369
営業外収益合計	2,518	3,598
営業外費用		
支払利息	3,485	2,348
その他	508	392
営業外費用合計	3,994	2,740
経常損失(△)	△168,890	△115,814
税金等調整前四半期純損失(△)	△168,890	△115,814
法人税、住民税及び事業税	900	2,759
法人税等調整額	△2,516	△45,398
法人税等合計	△1,616	△42,638
四半期純損失(△)	△167,273	△73,175
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△167,273	△73,175



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△167,273	△73,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,522	13,054
その他の包括利益合計	2,522	13,054
四半期包括利益	△164,750	△60,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△164,750	△60,121

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。